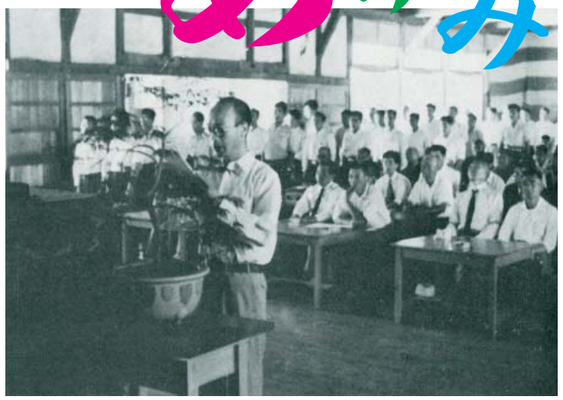
町村合併55周年 新たな出発（たびだち）

昭和30年７月15日、旧葛巻町･江刈村･田部村が合併して誕生した「新葛巻町」。わたしたちの町「葛巻町」が今年、合併55周年を迎えます。

この間、豊かな自然と資源を生かしたまちづくりに向け、町民が一体となって取り組み、町は着実に発展の道を歩んできました。

こうした節目に町の歴史を振り返り、55年の歩みをたどってみました。

まちのあゆみ



昭和30年７月15日、開庁式は葛巻小講堂で挙行されました
（宣誓する当時の田口敏夫助役）

「新葛巻町」の誕生

戦後、社会福祉、保健衛生などが新たに市町村の事務になり、増大した行政執行のため、市町村を適正に拡大することが必要となりました。このため、昭和28年に町村合併促進法が制定され、岩手県では葛巻町と江刈村の合併、田部村は一戸町を中心とする６町村の合併との試案を出しました。しかし田部村は、住民投票を行い、過半数が葛巻町との合併を希望しました。江刈村は田部村の参加を条件に、３町村の議員などで話し合いが重ねられ昭和30年６月19日、合併が正式に決定。翌月15日、開庁式が行われ、「新葛巻町」が誕生しました。

保健・福祉の充実へ

合併から5年後の35年６月、町内において「小児マヒ」が発生、必死の防疫活動を行い３カ月で終息し、これを契機に、町内全地区で衛生組合を組織。また保健委員が配置され町ぐるみの保健活動を展開。このことが後の保健文化賞の栄誉につながりました。

その後、母子健康センターが完成、55年に念願だった乳児死亡率ゼロを達成しました。

また、高齢者福祉の対策として48年には養護老人ホーム「葛葉荘」、平成２年には特別養護老人ホーム「高砂荘」が完成、福祉施設の整備も進められました。

教育振興運動を展開

40年、教育水準を高めるため、教師、両親、子ども、地域、行政の５者がお互いに協力し、教育振興運動を展開。「子どもに勉強部屋を与えよう」「きれいなことばを使いましょう」「健康で安全な町を築きましょう」の３つのスローガンのもと町を挙げて取り組みました。

同年、沼宮内高校葛巻分校が定時制から全日制へ、その後45年には、地域の地道な要望活動などにより念願の葛巻高校の独立が実現。平成14年に中高一貫教育を導入。学力向上などの成果も挙げ、県高文祭において郷土芸能部が最優秀賞に輝き、全国大会に出場するなど、部活動においても実績を上げています。

町村合併後の町づくりの基本構想
（原文のまま掲載）

町づくり基本構想

第一（人づくり）
「町づくりの主人公は町民自身である」厳しい立地条件下に在る本町の町づくりには、その主体者の「たくましい体力と気力」そしてその「栄知と創造性」にまたなければならない。即ち「人を作る」ことは町を興すことの基本であることを確認し、健康づくりと教養づくりに努める。特に農業の主人公である農民の育成に力をそそぐ。

第二（産地づくり）
地域産業の基幹は酪農と林業である。土地の生産性を向上することによって、生活水準を高めるとともに、人口包容力の増大を図る。

第三（環境づくり）
道路、交通、電話、電気、水道等環境の整備に力を注ぐ。

第四（協力と工夫）
町民の経済も、町の財政も極めて貴しいので
（１）地域の融和を図り、協力体制を強めることによって対外信用を高め、国、県事業の誘致と外部資金の導入に努める。
（２）金をかけないでもできる経営、生活面の改善点をお互いに探求して、その解決に努力する。
（３）農家の経営規模のこれ以上の零細化を防ぎ、且つ家族と社会のしあわせを確保するために家族計画を推進する。

第五（資金づくり）
町づくりをうけつぎ、これを完成する次代の人たちのために、町の基本財産を造成する。

まちのあゆみ

昭和

30年 岩手郡葛巻町、同江刈村、二戸郡田部村が合併、「岩手郡葛巻町」として発足
31年 商工会、森林組合、社会福祉協議会が創立
32年 葛巻保育園開設
33年 葛巻病院開院（28床）
34年 町立酪農研修所開設
35年 小児マヒ発生、翌年全国で初めて生ワクチン投与
36年 町中心部で初の舗装工事始まる
保健委員を各地区に配置（68人）
各地区に公衆衛生組合が発足
37年 平庭高原が県立自然公園に指定
東北電力葛巻変電所送電開始
国鉄バス･盛岡～久慈線開通
39年 東京オリンピック聖火リレーに葛高生23人参加
40年 町教育振興運動始まる
41年 振興山村地域に指定
町が保健文化賞受賞
42年 NHKテレビの中継局開局
葛巻局の電話、ダイヤル自動化
43年 江刈、葛巻森林組合合併
44年 学校給食センター業務開始
45年 葛巻高等学校が独立校に
国土調査事業開始
県道久慈･沼宮内線が国道に昇格
46年 盛岡消防署葛巻分署開設
葛巻中に町初のプール完成
48年 母子健康センター完成
養護老人ホーム「葛葉荘」完成
49年 上平にごみ処理施設完成